



下津第一中学校新聞

学校教育目標

「地域と関わりながら主体的に行動し、心豊かにたくましく生きる子どもの育成」

目は臆病 手は鬼

校長 北東 謙治



この言葉は、2016年1月21日の朝日新聞「折々のことば」で紹介されました。「折々のことば」は2015年4月から始まった朝刊1面のコラムで、哲学者の鷺田清一(きよかず)さんが、様々な「ことば」を紹介しています。「目は臆病 手は鬼」は気仙沼にある「斉吉(さいきち)魚問屋」が発行する「斉吉魚問屋便り」(2013年2月)に掲載されていたようです。鷺田さんは偶然目にされたのでしょうか。昔から三陸地方に言い伝えられてきた言葉だそうで、解説には次のように書かれています。「気仙沼のある魚問屋でのこと。大にぎわいの宴席のあと、下げた食器の山を見てため息をついていると、一家の母がこう(目は臆病、手は鬼)言ったという。途方もない量の片づけ仕事を前に怖(お)じけているときも、とりあえず手を動かせば存外すんなり事はなる。震災後、すさまじい瓦礫の山を前にしてボランティアの人たちがこの言葉を立証した。『斉吉魚問屋便り』から」

私も初めて目にした「ことば」でした。それ以来、時にこの言葉は、不精で、めんどくさがりで、なかなかエンジンがかからないの私の背中を押してくれます。あと9日で2022年が終わり、新しい年を迎えます。みなさんの新年の抱負は何ですか。「目標」は「ゴール・到達点」のことです。自分がなりたいものや達成したいことが「目標」です。「抱負」はゴールするために計画を立てて頑張ることです。

例えば、「ジュニア駅伝に出場する」のは「目標」です。「一生懸命駅伝練習を頑張る」のが「抱負」ですが、「毎日10km 走る」や「200mを45秒で走る」のように、具体的な内容にした方がよさそうです。「第一志望の高校に合格する」目標のために「朝3時間勉強する」という具体的な「抱負」を持ちましょう。しかし、ここで残念なお知らせがあります。ある会社の実態調査アンケートでは、2021年の「新年の抱負を達成できた」人は20%以下で、何と「新年の抱負を覚えていない」人が42%もいたようです。ここで、思い出してほしいのが「目は臆病 手は鬼」です。ぐずぐず考え込むことなく、まずはできることから始めれば、いつの間にか没頭し、気が付けば圧倒的な量をこなしている。こんな経験を一度はしたことがあるのではないのでしょうか。特に、受験で悩んでいる3年生は、勉強が手につかないとき、この言葉を思い出してください。きっと強い味方になってくれるでしょう。励ましてくれるでしょう。「目は臆病 手は鬼」とつぶやいてみてください。みなさん、しっかり体調管理をして良い年をお迎えください。

☆☆ 生徒たちは校外でも頑張っています！ ☆☆☆

◎2022 ビブリオバトル 出場! 11/13(日)

〈ノビノス〉 2年 さんが「アンネフランク物語」を紹介しました。動画配信で視聴させてもらい、投票にも参加しました。堂々とした発表で頼もしく感じました。昔読んだことを思い出して「そうそう」と共感しながら聞かせてもらいました。

◎下津図書館事業 一中生徒によるお話し会 12/11(日) 〈交流センター〉

当日、3年生ボランティア5名が、リハーサルをして、小さなお子さんに「読み聞かせ」をしました。盛大な拍手をいただいたようです。お疲れ様でした。

◎海草地方中学校英語



発表会 11/10(木) 〈ノビノス〉

3年ぶりに開催され、本校を代表して2年生4名が参加しました。スクリーンを使って、参加型クイズを披露してくれました。他校の発表に、素直に感心し「来年また来たい」と言う声が聞けたこと、大変うれしかったです。



◎第28回ジョン・ケンドリック杯 小中学生スピーチコンテスト

3年 さんが音声による第1次審査を見事通過しました。Let's Save the Earth! プラスチックごみによる環境問題を訴えました。指導した先生も録音の段階で、発音を褒めていましたね。

